

今者定 齋

中原綾子

えしやじょうりあんくつり
會者定 離愛別 離苦と 佛はほんとのことを
告うして 術をし

老いはもとより よしや何事のつらに似るつ
ら ^となるところも呼吸して 居うねはあうぬ

街燈に花見のごとき 笠着せて 住めば都の形
の山屋

旅人は飛弾の山家のあはれなる 朝の煙の消え
ぬ 向に去らぬ

飛弾の国入日は小夜の中山の峰の彼方に落つ
るものか